

## 《Bicycle Glance Meeting/Annex》

自転車目線で日本の地方の未来を考えよう！

Let's think about the local future in Japan in a bicycle glance!

Course Create+転遊研

# 工 事 地 域

# ブームから文化へ！

# Bike is Good!

「SBAA プラス」と「SBF30th Anniversary」とのコラボ企画の提案

ヨーロッパ型サイクリングクラブ・・・ ショップ・ユーザー・地域が三位一体となった、スクールからレースまで、様々な自転車ソフトを守備範囲とする地域貢献型サイクリングクラブ。スポーツサイクリングでは、子供の成長に合ったサイズを揃え年代別スキルアップスクールを行い、日常利用では、ルール・マナーの啓蒙活動や初心者対象サイクリングや自転車走行環境メンテナンスも行う。



## Bicycle Glance Annex(案)



- 自転車文化と自転車ソフト・・・・・・・・①
- 立川プラン・・・・・・・・②
- 甲信プラン・・・・・・・・③
- 奈良プラン・・・・・・・・④
- 山口プラン・・・・・・・・⑤
- Bicycle Glance Meeting・・・・・・・・⑥

Course Create 2015/06/06



## 自転車文化と自転車ソフト



果たして日本に自転車文化はあるのでしょうか？

もちろんあります！

鉄砲鍛冶から続く伝統の技術や輸出産業の花形だった戦後は過去の栄光としても、レースシーンで活躍する冷間鍛造パーツやカーボンフレームを支える素材供給など、世界を間違いないでリードしています。

ソフト面でも日本発祥のケイリンが五輪種目に採用されており、保有台数や利用頻度など世界の上位にランクされ、さらに歩道共有システムは安全性が高いと注目され、自転車大国と見られている部分もあります。

でも何か変？

そう、対外貿易や対日評価の話しだからです。

さらに、日本の走行環境は酷い！

歩道共有も十分な広さを確保できず「自転車暴走族」や「駐輪問題」を生み、道路事情や休日事情等で自転車で日本を楽しむ機会の少ない状況は、日常利用とスポーツ利用の両面から見てもマイナス文化の印象が強く、自転車市民権（≡自転車文化）は得られていないと思われます。

自転車ソフトを語る前に基礎知識を二つ！

その1：「サイクリング」とは、レースを含むスポーツサイクリング全般のこと！

その2：自転車の十人百色の使い方を「自転車多様性」とし、ハード（自転車/作る、売る、直す）、ソフト（使い方/日常と余暇、仕掛けとネットワーク）、ハート（人/テクニック、マナー、ルール、スクール）、インフラ（環境/道路、セキュリティ、保険、イベント、サイクリングクラブ）の4つに凝縮。

繰り返される自転車ブームには、始まる理由と、終わる理由がありますが、バイシクルグランズ本館でもそれは不明のままです。ただ遠因として、サイクリングネットワークの不備があるように思います。繰り返されるブームの終盤、ソフトの充実やインフラ整備が必ず議論されますが、時間切れ先送りです。

そしていきなり結論です。

ショップ・ユーザー・地域が三位一体となった、スクールからレースまで、様々な自転車ソフトを守備範囲とする地域貢献型サイクリングクラブを各地に作り、クラブ同士が交流することが、自転車文化そのものと考えます。その情報交換の場が、バイシクルグランズミーティングです。



# 立川プラン



## 【エリア構成要素】

### § I :velodrome

立川競輪場(所在地:東京都立川市曙町 3-32-5/開設:1951年(昭和26年)10月17日/施行者:立川市/走路:400m)

### § II :SBAA マーク認定店舗

立川市内:ナシ/都下:15店舗/都内:55店舗

### § III:関連施設・団体・主なイベント

関連団体本部多数、昭和記念公園、TOJ東京ステージ、バイシクルライド東京、東京シティサイクリング、他

東京サイクリング協会/〒104-0061 中央区銀座 7-15-11-1201 中村方 03-3541-6540  
東京都自転車競技連盟/〒110-0015 台東区東上野 3-1-14 横尾 様方 TEL:03-3843-4484

### § IV:自転車道

多摩湖自転車道/芝川自転車道/多摩川サイクリングロード/荒川サイクリングロード

### § V:その他

※たちかわ創造舎・立川サイクル・ステーション事業・・・自転車文化都市のモデルケースを目指して、様々なプロジェクトを展開します。

<http://tachikawa-sozoshia.jp/>

共に学ぶ・創る・発信するファクトリー「たちかわ創造舎」(2015年10月本格始動)/04年に閉校した多摩川小学校の校舎や体育館をそのまま残し、学校という貴重な資源を、新たな想像を産み育て続ける場として生まれ変わらせませす。富士山の見える多摩川沿いの風渡るこの場所に多摩エリアの文化を担う人々が集い、地域の方々と共に歩みながら、多岐にわたるプログラムを展開してまいります。

## 【【BGM展開案】】

立川プラン・・・たちかわ創造舎のサイクルステーションを活用して、当企画全体の事務局の設置を検討！（サイクリストライセンス、スタッフスクール）

- 1) BGM事務局・・・たちかわ創造舎の教室を賃借して、事務局を設置し、活動の拠点にする。情報発信、情報集約、エントリー事務局以外に、備品や景品の管理も行う。
- 2) サイクリストライセンス・・・ヨーロッパ型サイクリングクラブの前提に、年代別スキルアップスクールと、ライセンス登録があります。その制度設計のための実証実験企画を考えます。
- 3) スタッフスクール・・・BGM本館にもあるように、春需でソフトを提供するには自転車ソフトの機会均等が求められます。それには、各地でイベントや行事を定期的実施できるリーダースタッフが必要です。そのリーダースタッフ養成講座を定期的開催します。
- 4) その他・・・リーダースタッフ養成講座を受け持つことのできる講師の育成も必要です。また、スポーツ車の特殊メンテナンスのメカニック研修や、出張スタッフスクールも守備範囲にします。また、サイクルステーションの活動と連動して、自転車さんぽ23区制覇や甲信プランの後方支援を行う。

## 【【キーマンへのお願い】】

原資が確保できた場合の理想は、事務局専任スタッフですが、少なくとも立川サイクルステーション関連企画として甲信プランの後方支援をお願いします。



# 甲信プラン



## 【エリア構成要素】

### § I:velodrome

境川自転車競技場(所在地:山梨県笛吹市境川町藤堡/開設:1983年/  
所有者:山梨県体育協会/走路:400m)

### § II:SBAA マーク認定店舗

山梨県:4店舗/長野県:5店舗

### § III:関連施設・団体・主なイベント(下記その他の項参照)

山梨県サイクリング協会/〒400-0035 甲府市飯田 5-12-9 山梨県自転車軽自動車商協同組合内 055-222-9207  
山梨県自転車競技連盟/〒400-0215 南アルプス市上八田 1299 山口 一樹 様方  
長野県サイクリング協会/〒390-0874 松本市大手 1-3-28 0263-50-5633  
長野県自転車競技連盟/〒399-8101 安曇野市三郷明盛 3051-1 アズミノバイク内

### § IV:自転車道

山梨県...山中湖自転車道  
長野県...あづみ野やまびこ大規模自転車道/千曲川自転車道/天竜川  
沿岸自転車道

### § V:その他

※奥座敷型自転車イベント発祥の地...元々信州の魅惑の峠道はサイクリストの憧れであったが、富士山エリア、八ヶ岳エリア、安曇野エリア、伊那谷エリア、白馬エリア、東信エリア、北信エリアと、様々なエリアで自転車イベントが無数に行われている。

## 【【BGM展開案】】

甲信プラン... 諏訪、富士見、甲府、富士五湖を中心に奥座敷型のサイクリングフィールドを整備する。(MTBリバティフィールド、甲信ブルベ)

- 1) 奥座敷型自転車ソフトの提案...首都圏と中京圏から常に注目されるエリアのため、情報発信を含めた受け入れ態勢の連携整備を積極的に進める。それにはニーズの分析と、バリエーションの充実が必要で、BGMの指針と合致している。
- 2) MTBリバティフィールド...そのニーズのひとつが「MTB走行環境整備」です。これは一筋縄で行かないことは既に明白で、実験エリアや市民権獲得の努力と合わせて、徐々に可能性を探りたいと思います。
- 3) 甲信ブルベ(R2R)...イベントは、その日その場所に行く前提ですが、自転車は自由なもの。個人の裁量で参加できる企画として、出走認定制度(ブルベ)を提案します。R2Rは、リバー・ツー・リバーの略で「信濃川」「天竜川」「富士川」に絡む400kmを越すコース走破を認定します。
- 4) その他...BGMブロック大会、決勝大会の受け入れ準備。

## 【【キーマンへのお願い】】

理想は甲信エリアのイベントオーガナザー等のベクトルを揃えることですが、少なくともBGMのモデル大会や富士・八ヶ岳エリアのMTBフィールドを地元スタッフが手掛ける事です。



# 奈良プラン



## 【エリア構成要素】

### § I:velodrome

奈良競輪場／奈良県営競輪場(所在地:奈良県奈良市秋篠町 98／開設:  
1950年(昭和25年)5月18日／施行者:奈良県／走路:333m)

### § II:SBAA マーク認定店舗

奈良県:3店舗(京都府:12店舗／大阪府:32店舗)

### § III:関連施設・団体・主なイベント

TOJ奈良ステージ(1999～2010)、グランフォンド吉野、他多数

奈良県サイクリング協会／〒630-8238 奈良市高天市町 22-2 塚本方 0742-22-3186

奈良県自転車競技連盟／〒633-0241 宇陀市榛原下井足 210 県立榛原昇陽高等学校内 大和様

### § IV:自転車道

奈良西の京斑鳩自転車道線(奈良自転車道)／大和郡山田原本樫原自転車道線(大和中央自転車道)／明日香大和郡山自転車道線(飛鳥葛城自転車道)

### § V:その他

※奈良県自転車利用促進計画(ならクル)・・・広域的な周遊観光を促し、県内における滞在型観光の拡大による観光振興や地域活性化を目指すとともに、県民の健康増進や環境にやさしいまちづくり等を進めるため、「奈良県自転車利用促進計画」を策定しました。

<http://nara-cycling.com/>

## 【【BGM展開案】】

奈良プラン・・・奈良県は既にサイクリング環境整備を進めており、さらに連携を深めて、関西圏の拠点とする。(関西ディアゴナール)

- 1)ならクルとの連携・・・自転車の活用を掲げることは間違いないが、結局、宿泊を伴う自転車旅を楽しむ愛好家を増やすには、単独の企画では解決できない日本の課題がある。それも含め日本の道を楽しむための「山の辺の道サミット」を再提案！
- 2)関西ディアゴナール・・・関西エリアの「南紀」「伊勢」「湖北」「山陰」「播磨」を頂点とする星型に見立て、その対角線を走破するブルベを実施する。「湖北～播磨」以外の「播磨～伊勢」「伊勢～山陰」「山陰～南紀」「南紀～湖北」は奈良県を通る推奨ルートを設定し、**ナショナルブルベ**の提案と合わせて、認定の拠点とする。
- 3)拠点としての奈良競輪場・・・認定の拠点は奈良競輪場に置く。また立川プランの西日本エリアの補助活動も行う。
- 4)その他・・・BGMブロック大会、決勝大会の受け入れ準備。

## 【【キーマンへのお願い】】

これは一言、ナショナルブルベを再度提案することです！





# 山口プラン



## 【エリア構成要素】

### § I:velodrome

防府競輪場(所在地:山口県防府市国分寺町8-2/開設:1949年(昭和24年)9月22日/施行者:防府市/走路:333m)

### § II:SBAA マーク認定店舗

山口県:2店舗(島根県:4店舗/広島県:6店舗/福岡県:4店舗)

### § III:関連施設・団体・主なイベント

防府市サイクリングターミナル、ツール・ド・しものせき、汗々フェスタ  
山口県サイクリング協会/〒747-0814 防府市三田尻 2-3-28 山口県自転車軽自動車商協同組合内 0835-22-0712  
山口県自転車競技連盟/〒754-0897 県山口市嘉川 4188 棟久 明博 様方 TEL:080-5216-898 FAX:080-898-2711

### § IV:自転車道

山口秋吉台公園自転車道線(山口秋吉台自転車道)/山口防府小郡自転車道線(周防往還自転車道)/佐波川自転車道線

### § V:その他

※自転車遊び実証実験への協力店舗・・・日出男商会(長門市)、ANOサイクル(山口市)、ツノサイクル(山口市)、ラビットストリート(宇部市)、CCマツナガ(宇部市)、サイクルピット240(下関市)、ル・モンド・ヴェロ(防府市)、ワンツーサイクル(周南市)、CSヒロシゲ(柳井市)、ムラナカサイクル(岩国市)、SCウエキ(大竹市)、フォグバイク(岩国市)

## 【BGM展開案】

山口プラン・・・維新150周年企画を契機に地産地消型組織を立ち上げ、隣県と連動したモデルケースを実践。(THT26◆◆毛利チャレンジーナメント)

- 1) 地産地消型ソフトの提案・・・三方を海に囲まれた山口県には自然と歴史と適度な都市があり、また、プロショップの数も相応と思われ、地産地消型のソフトを提案する要件を満たしています。ただし灯台下暗し状態のため、維新150周年に合わせて、人材育成やネットワークの整備の必要性を改めて提案します。
- 2) THT26◆◆毛利チャレンジ・・・2018年の明治維新150周年に合わせて、日常利用とスポーツ利用の懸け橋となれる「THT26」を県や自治体に提案します。現実的には「県内バージョン」と「中四国九州バージョン」が考えられます。(※別途提案)
- 3) 全国トーナメントの提案・・・県のバックアップがもしあった場合、全国展開も可能です。(※別途提案)
- 4) その他・・・BGMブロック大会の受け入れ準備。

## 【キーマンへのお願い】


地産地消型を成立させるための、三位一体型サイクリングクラブの理想を追いしたいと思います。  
そのためTHT26の2日間開催の公式大会(後援:山口県、TP調査協力:サイクリング協会、集計審判:自転車競技連盟)を模索したいと思います。



## バイシクルグランスミーティング



BGM本館(バイシクルグランスミーティング・企画提案書第二稿)でも触れているように、  
単独のイベントや、特定の団体では解決できない問題として「自転車走行環境整備」や「自転車ソフトの標準化」があり、  
その課題解決には自転車市民権(≡自転車文化)の獲得がキーワードとしていますが、  
その意見交換の場が「バイシクルグランスミーティング」です。

また、自転車文化の頂きに登るには「自転車多様性探求ルート」と「自転車ソフト充実ルート」があり、  
「バイシクルグランスミーティング」は、その2つを足して2で割った『ルート』としていますが、  
自転車ソフトの機会均等を目指すかなり欲張った提案で、  
時期尚早とも不可能とも言われ、完成形がいつになるか判りません。

シマノバイカーズフェスティバル30周年企画を呼び水に、  
定期的なイベント開催で自転車ソフトの標準化を目指し、  
三位一体型サイクリングクラブで各地の運営母体を整備する、  
イベント連携や実証実験を段階的に行うバイシクルグランス三本柱の提案は、  
2020年に関係省庁も含めた完成形を目指すのではなく、次世代への繋ぎ役として、  
春需でソフトを提供するためのサイクリングネットワークのベースを作るものです。

「キーマンへのお願い」はシンプルです。  
レース+ツーリングのバイシクルグランスミーティングで、  
「自転車走行環境整備」や「自転車ソフトの標準化」について意見交換をしましょう！